

紙版 ハコブネ×ブックス vol.29

<https://hakobune.wp-x.jp>

ハコブネ×ブックスは児童文学作品・YA作品を未来に語り継ぐwebサイトです。



分解系女子マリー
 MARIE CURIOUS, GIRL GENIUS
 :SAVE THE WORLD.
 作者 クリス・エディソン
 翻訳者 橋本恵
 出版社 小学館
 発行 2021年6月
 ISBN 978-4092906457



小さな頃から科学的探究心が強く、**家中の道具を分解**してきた、将来は発明家になりたいという夢を抱く十二歳の少女マリー。ある日、彼女の家の前に降下したドローンから、世界有数のテクノロジ企業「パンス社」が主催するサイエンスキャンプに招待するというメッセージを受け取ります。そこは若手科学者が学ぶための世界一有名なサマーカーンブでした。しかし、参加者を互いに**敵視させ競わせよう**と煽るパンス社長の姿勢に、マリーは次第に違和感を覚えます。パンス社が安全性よりも他社に勝つことを優先しようとしていることを知った自分たちの得意分野の能力を発揮して、パンス社長の暴走を食い止めようとする。最後に勝ったのは、子どもたちの信頼関係に基づいた協

ブラックホールの飼い方



ブラックホールの飼い方
 THE CARE AND FEEDING OF A PET BLACK HOLE.
 作者 ミシェル・クエヴァス
 翻訳者 杉田七重
 出版社 小学館
 発行 2020年10月
 ISBN 978-4092906280



一九七七年。宇宙探査機ボイジャーが外宇宙に旅立とうとする年。十一歳の科学好きの少女ステラは、どうしても宇宙に運んで欲しいものがあり、NASAを訪ねたものの門前の後をついてきてしまします。それは**ボヤッとした闇**です。理論天文学の本の中に、ステラはその正体を見つめます。**ブラックホール**。あらゆるものを呑み込んでしまう**重力の中心**。ブラックホールが消し去ったものは、その記憶も消滅させます。亡くなったパパの声を録音していたステラに乗せたいと思っていたステラは、いつそ思い出さなければ辛い気持ちもなくなると、思い出の品をブラックホールに呑み込ませます。それでも、未来の自分のために**忘れてはならない過去**もあるのです。ブラックホールの底で、ステラは目を逸らさず過去に立ち向かい、大切なものの存在を実証していきます。

小さな頃から科学的探究心が強く、**家中の道具を分解**してきた、将来は発明家になりたいという夢を抱く十二歳の少女マリー。ある日、彼女の家の前に降下したドローンから、世界有数のテクノロジ企業「パンス社」が主催するサイエンスキャンプに招待するというメッセージを受け取ります。そこは若手科学者が学ぶための世界一有名なサマーカーンブでした。しかし、参加者を互いに**敵視させ競わせよう**と煽るパンス社長の姿勢に、マリーは次第に違和感を覚えます。パンス社が安全性よりも他社に勝つことを優先しようとしていることを知った自分たちの得意分野の能力を発揮して、パンス社長の暴走を食い止めようとする。最後に勝ったのは、子どもたちの信頼関係に基づいた協

特集

科学の勝利だ

科学万能の時代です。**テクノロジの進歩**がすべての問題を解決に導き、**薔薇色の未来**が始まる。とはいえ、科学には多面性や功罪もあり、手強さもありません。児童文学作品には**科学好き**の子どもたちがよく登場します。探究心とアイデアに優れ、発明や発見に興味がある**好奇心旺盛なタイプ**は、変わり者で**孤高**を気取りがちです。**科学的であろうとする**ことは大切ですが、科学では割り切れないことも世界には溢れています。何より、科学を人の幸福につなげられなければ意味はないのです。**この世界を解明し、叡智の光で照らす**にはどうすれば良いか。子どもたちは色々な壁に突き当たりながら、**協力しあう**ことに答えを見出します。自分の**心の未知なるものを明らかにして、より深く考え実証する**。真に科学的であるとはどういうことか。探究と解明のスピリットがみなぎる物語から、その先にある**勝利**が見えてくるはずですよ。



東京タワーに住む少年

作者 山口理
 出版社 国土社
 発行 2022年3月
 ISBN 978-4337336537



東京タワーには**レインボー・セン**ターという**秘密の研究室**が存在しています。半世紀以上に渡って、そこでは東京タワーに**虹を架ける装置**が研究されてきました。設計技師の一人である亡き田所正太郎の、東京タワーを**夢と希望の象徴**にしたいという願いを託された彼の一族は、秘密裏に研究を続けてきましたが、完成には遠く、計画は行き詰まっています。正太郎の曾孫である小学六年生の科学好きの少年、田所健人は、祖父をサポートしながら、自分でも独自に研究を進めていました。誰の力も借りず、自分ひとりの力で切り開いてこそ**真の科学**だと信じていた少年は、優れた最新の研究が停滞した状況を打開すると気づき、協力者をプロジェクトに迎えることを祖父に提案します。人は支え合い**協力し合う**ことで夢を実現できる。頑なだった少年が科学の真髄を知る物語です。

セカイを科学せよ!



作者 安田夏葉
 出版社 講談社
 発行 2021年10月
 ISBN 978-4065246290



ロシア人の母親を持ち、白人の子孫のような外見を持つ中学二年生の藤堂ミハイルは、**人に特別視されないように**学校生活を送っていました。なんでも無難にこなして、敵も作らない彼は、所属する科学部の部長代理も任せられます。そんな折、同じクラスに黒人ハーフの山口アビゲイル葉奈が転校してきます。その目を引く外見にミハイルは秘かに親近感を抱きますが、葉奈は目立つことを物ともせず、昆虫や爬虫類を好きだと公言し、**孤立を恐れない強さ**を見せま

特集 科学の料理だ



一九九九年。この夏、もうすぐ十二歳になる少女キヤルバーニアは『種の起源』に出会い、**自然科学に目覚めます**。保守的な田舎町に暮らす彼女は、独自の研究にいそむ祖父の共同研究者として、**科学的な態度**でこの世界を記録していきます。**科学によって進化**する子どもたちの感性を捉える物語がここにあります。



ダーウィンと出会った夏 (ジャクリン・ケリー) ほるぷ出版 2011年

紙版「ハコブネ×ブックス」vol.29
 2022年8月1日発行 ●発行人 きむらともお
 事務系社員。趣味で児童文学紹介サイト「ハコブネ×ブックス」(非営利)を運営しています。日本児童文学者協会第6回児童文学評論新人賞佳作、諸々を受賞。



Twitter 連携しています。 @tomoostretch